

平成 1 8 年度

県立病院事業会計決算見込み

平成 1 8 年 1 2 月

# 平成18年度決算見込みについて

## 1. 病院事業全体

### 患者数見込み

(単位：人、%)

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率	17年度実績	増減(実績比)	増減率
延入院患者数	407,189	432,160	24,971	5.8	428,016	20,827	4.9
宮崎病院	165,620	169,360	3,740	2.2	160,496	5,124	3.2
延岡病院	138,762	147,825	9,063	6.1	145,405	6,643	4.6
日南病院	89,428	94,900	5,472	5.8	99,155	9,727	9.8
富養園	13,379	20,075	6,696	33.4	22,960	9,581	41.7
延外来患者数	395,107	482,160	87,053	18.1	493,535	98,428	19.9
宮崎病院	149,864	171,500	21,636	12.6	187,825	37,961	20.2
延岡病院	112,986	151,900	38,914	25.6	148,375	35,389	23.9
日南病院	117,586	142,100	24,514	17.3	140,678	23,092	16.4
富養園	14,671	16,660	1,989	11.9	16,657	1,986	11.9

### 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率	17年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	25,171	25,936	765	3.0	26,138	967	3.7
医業収益	21,465	22,253	787	3.5	22,187	721	3.3
入院収益	16,640	17,205	565	3.3	17,080	440	2.6
外来収益	3,639	3,892	252	6.5	4,114	475	11.5
一般会計繰入金	759	759	0	0.0	596	163	27.4
その他	427	397	30	7.6	397	31	7.7
医業外収益	3,706	3,684	22	0.6	3,951	245	6.2
一般会計繰入金	3,615	3,615	0	0.0	3,878	263	6.8
その他	91	69	22	32.2	73	18	24.5
病院事業費用	27,434	28,269	835	3.0	29,237	1,803	6.2
医業費用	25,616	26,374	758	2.9	27,396	1,780	6.5
給与費	12,126	12,467	342	2.7	14,224	2,098	14.8
材料費	6,599	6,697	98	1.5	6,869	270	3.9
(うち医療材料費)	6,376	6,467	91	1.4	6,641	265	4.0
経費	4,171	4,483	313	7.0	3,692	478	13.0
減価償却費	2,579	2,587	8	0.3	2,490	89	3.6
その他費用	142	139	3	2.1	121	21	16.9
医業外費用	1,818	1,895	77	4.1	1,841	23	1.3
支払利息	1,168	1,206	38	3.2	1,211	43	3.6
その他	651	690	39	5.6	631	20	3.2
収支差	2,263	2,333	70	-	3,099	836	-

## 特記事項（病院事業全体）

患者数は、入院、外来ともに前年度より減少の見込み

### <患者数の状況>

- ・ 延入院患者数 407,189人(対計画比 24,971人 5.8%の減少)  
(対前年度比 20,827人 4.9%の減少)
- ・ 延外来患者数 395,107人(対計画比 87,053人 18.1%の減少)  
(対前年度比 98,428人 19.9%の減少)

### <患者数減少の主な要因>

- ・ 医療制度改革の影響(在院日数の短縮化等)
- ・ 地域連携の推進
- ・ 病棟削減 日南：330床 281床 (10/1～ 49床)  
富養園：159床 102床 (4/1～ 57床) 81床(10/1～ 21床)
- ・ 民間医療機関の充実
- ・ 医師の交替 等

病院事業収益は、入院・外来収益の減少により、計画と比較し7億65百万円（前年度比9億67百万円）減少の見込み

### <主な増減要因>

- ・ 入院収益の減少(計画比 5億65百万円)  
(前年度比 4億40百万円)
- ・ 外来収益の減少(計画比 2億52百万円)  
(前年度比 4億75百万円)

病院事業費用は、給与費の減少等により、計画と比較して8億35百万円（前年度比18億3百万円）減少の見込み

### <主な増減要因>

- ・ 給与費の減少(計画比 3億42百万円)  
(前年度比 20億98百万円)  
退職金 9億47百万円、現業職員の減 7億64百万円
- ・ 材料費の減少(計画比 98百万円)  
(前年度比 2億70百万円)
- ・ 経費の減少(計画比 3億13百万円)  
(前年度比 + 4億78百万円)  
現業業務の委託化 + 3億64百万円

上記の結果、収支は、約22億63百万円の純損失を計上する見込み

- ・ 計画比 + 70百万円の改善見込み。
- ・ 前年比 + 8億36百万円の改善見込み。

2. 病院別

(1) 宮崎病院

収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率	17年度実績	増減(実績比)	増減率
<b>病院事業収益</b>	<b>10,579</b>	<b>10,090</b>	<b>489</b>	<b>4.8</b>	<b>9,878</b>	<b>700</b>	<b>7.1</b>
<b>医業収益</b>	<b>9,321</b>	<b>8,828</b>	<b>493</b>	<b>5.6</b>	<b>8,541</b>	<b>781</b>	<b>9.1</b>
入院収益	7,452	6,992	461	6.6	6,567	886	13.5
外来収益	1,442	1,409	33	2.3	1,605	163	10.1
一般会計繰入金	303	303	0	0.0	238	65	27.3
その他	124	124	0	0.1	131	8	5.7
<b>医業外収益</b>	<b>1,257</b>	<b>1,262</b>	<b>5</b>	<b>0.4</b>	<b>1,338</b>	<b>80</b>	<b>6.0</b>
一般会計繰入金	1,222	1,222	0	0.0	1,299	77	5.9
その他	35	40	5	12.1	38	3	9.0
<b>病院事業費用</b>	<b>10,820</b>	<b>10,711</b>	<b>109</b>	<b>1.0</b>	<b>10,707</b>	<b>113</b>	<b>1.1</b>
<b>医業費用</b>	<b>10,300</b>	<b>10,185</b>	<b>115</b>	<b>1.1</b>	<b>10,201</b>	<b>100</b>	<b>1.0</b>
給与費	4,765	4,877	112	2.3	5,330	565	10.6
材料費	2,961	2,631	330	12.6	2,645	315	11.9
(うち医療材料費)	2,865	2,538	327	12.9	2,558	308	12.0
経費	1,756	1,859	102	5.5	1,501	256	17.0
減価償却費	763	759	4	0.5	676	87	12.9
その他	55	60	4	7.0	49	6	12.8
<b>医業外費用</b>	<b>520</b>	<b>526</b>	<b>6</b>	<b>1.2</b>	<b>507</b>	<b>13</b>	<b>2.6</b>
支払利息	262	276	14	5.2	282	20	7.0
その他	258	250	8	3.3	225	33	14.6
<b>収支差</b>	<b>242</b>	<b>621</b>	<b>379</b>	<b>-</b>	<b>829</b>	<b>587</b>	<b>-</b>

経営指標の見込み

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	17年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	87.8	89.7	1.9	-	85.2	2.6	-
2. 平均在院日数(日)	15.3	H22 17.0以下	1.7	-	15.6	0.3	-
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	44,996	41,283	3,713	9.0	40,914	4,082	10.0
(2) 外来	9,622	8,217	1,405	17.1	8,543	1,079	12.6
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	51.1	55.3	4.1	-	62.4	11.3	-
(2) 医療材料費	30.7	28.7	2.0	-	29.9	0.8	-
5. 経常収支比率(%)	97.8	94.2	3.6	-	92.3	5.5	-

## 特記事項

宮崎病院 ~ 2億42百万円の純損失の見込み (対計画比 +3億79百万円、対前年度比 +5億87百万円)
--

### 〔概要〕

延患者数は、入院・外来ともに計画を下回る見込みであるが、高度医療の増加等に伴い、計画を上回る診療単価のアップが見込まれる。このため、計画に比べ、

- ・ 入院収益で + 4億61百万円
- ・ 外来収益で + 33百万円

前年度比は、

- ・ 入院収益 ~ 増加見込み (+ 8億86百万円)
- ・ 外来収益 ~ 減少見込み ( - 1億63百万円)

(参考) 10,000点以上の手術件数 1,322件 (H17上期) 1,476件 (H18上期)

調理給食、看護補助などの現業業務の委託化等 (= 現業職員の削減)、退職給与金の減少見込みにより、給与費の減少が見込まれる。

- ・ 計画比 1億12百万円
- ・ 前年度比 5億65百万円

(参考) 現業職員の削減 53名、看護師の増員 10名 (中途異動)

高度手術の増加などに伴い、材料費の増加が見込まれる。

- ・ 計画比 + 3億30百万円
- ・ 前年度比 + 3億15百万円

現業業務の委託化等に伴い、前年度比で経費(主に委託費)の増加が見込まれる。

- ・ 計画比 1億2百万円
- ・ 前年度比 + 2億56百万円

### 〔診療機能の見直し等〕

7対1看護体制の導入 (11月)

一層質の高い看護の提供と収益の確保を図るため、7対1看護体制を11月から導入した。

がん治療センターの整備 (平成19年1月開設予定)

質の高いがん治療を提供するため、宮崎病院8階をがん治療センターとして整備 (外科系46床 (8階東)、内科系44床 (8階西)) を行う。

## (2) 延岡病院

## 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率	17年度実績	増減(実績比)	増減率
<b>病院事業収益</b>	<b>8,683</b>	<b>9,562</b>	<b>879</b>	<b>9.2</b>	<b>9,844</b>	<b>1,161</b>	<b>11.8</b>
<b>医業収益</b>	<b>7,547</b>	<b>8,445</b>	<b>898</b>	<b>10.6</b>	<b>8,622</b>	<b>1,076</b>	<b>12.5</b>
入院収益	6,026	6,753	727	10.8	7,021	995	14.2
外来収益	1,071	1,278	208	16.2	1,282	211	16.5
一般会計繰入金	271	271	0	0.0	174	97	55.9
その他	179	143	36	25.1	146	33	22.7
<b>医業外収益</b>	<b>1,137</b>	<b>1,117</b>	<b>20</b>	<b>1.8</b>	<b>1,222</b>	<b>85</b>	<b>7.0</b>
一般会計繰入金	1,097	1,097	0	0.0	1,200	104	8.6
その他	40	21	20	95.2	22	19	86.3
<b>病院事業費用</b>	<b>9,678</b>	<b>10,054</b>	<b>375</b>	<b>3.7</b>	<b>10,254</b>	<b>576</b>	<b>5.6</b>
<b>医業費用</b>	<b>8,884</b>	<b>9,210</b>	<b>325</b>	<b>3.5</b>	<b>9,427</b>	<b>543</b>	<b>5.8</b>
給与費	4,038	3,932	106	2.7	4,229	191	4.5
材料費	2,461	2,828	367	13.0	2,975	514	17.3
(うち医療材料費)	2,393	2,753	360	13.1	2,902	509	17.5
経費	1,296	1,366	70	5.1	1,168	128	10.9
減価償却費	1,035	1,042	6	0.6	1,010	25	2.4
その他	54	43	11	26.5	44	10	22.0
<b>医業外費用</b>	<b>794</b>	<b>844</b>	<b>50</b>	<b>5.9</b>	<b>827</b>	<b>33</b>	<b>4.0</b>
支払利息	558	573	14	2.5	573	15	2.6
その他	235	271	36	13.2	254	18	7.2
<b>収支差</b>	<b>995</b>	<b>491</b>	<b>503</b>	<b>-</b>	<b>410</b>	<b>585</b>	<b>-</b>

## 経営指標の見込み

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	17年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	83.2	88.0	4.8	-	86.6	3.4	-
2. 平均在院日数(日)	14.8	H22 14.0以下	0.8	-	14.7	0.1	-
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	43,430	45,683	2,253	4.9	48,288	4,858	10.1
(2) 外来	9,476	8,415	1,061	12.6	8,638	838	9.7
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	53.5	46.6	6.9	-	49.1	4.5	-
(2) 医療材料費	31.7	32.6	0.9	-	33.7	1.9	-
5. 経常収支比率(%)	89.7	95.1	5.4	-	96.0	6.3	-

## 特記事項

延岡病院	～	9億95百万円の純損失の見込み
	(対計画比	5億3百万円、対前年度比 5億85百万円)

### 〔概要〕

整形外科・心臓血管外科の医師の交替及び眼科の休診などにより、延患者数は、入院・外来ともに、計画及び前年度を下回る見込みであり、また、入院の診療単価が計画を下回ることが見込まれる。このため、計画に比べ、

- ・ 入院収益 ～ 7億27百万円
- ・ 外来収益 ～ 2億8百万円

また、前年度比においても、ともに減少見込み。

- ・ 入院収益 ～ 9億95百万円
- ・ 外来収益 ～ 2億11百万円

7対1看護体制に向けての年度中途の看護師の異動（増員）に伴い、計画比では、給与費が増加する見込みであるが、現業業務の委託化等（＝現業職員の削減）、退職給与金の減少見込みにより、前年度比では給与費の減少が見込まれる。

- ・ 計画比 + 1億6百万円
- ・ 前年度比 1億91百万円

（参考）現業職員の削減 31名、看護師の増員 10名（中途異動）

高度手術の減少などに伴い、材料費の減少が見込まれる。

- ・ 計画比 3億67百万円
- ・ 前年度比 5億14百万円

（参考）10,000点以上の手術件数 1,348件（H17上期） 1,099件（H18上期）

現業業務の委託化等に伴い、前年度比で経費（主に委託費）の増加が見込まれる。

- ・ 計画比 70百万円
- ・ 前年度比 + 1億28百万円

### 〔診療機能の見直し等〕

地域医療支援病院の体制整備（11月）

県北地域の医療水準の維持向上を図り、医療連携の要として、その役割を十分果たしていくため、11月に地域医療支援病院として承認を受けた。

7対1看護体制の導入（12月）

一層質の高い看護の提供と収益の確保を図るため、7対1看護体制を12月から導入した。

## (3) 日南病院

## 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率	17年度実績	増減(実績比)	増減率
<b>病院事業収益</b>	<b>5,061</b>	<b>5,322</b>	<b>261</b>	<b>4.9</b>	<b>5,356</b>	<b>295</b>	<b>5.5</b>
<b>医業収益</b>	4,222	4,491	269	6.0	4,508	287	6.4
入院収益	2,974	3,189	215	6.7	3,182	208	6.5
外来収益	965	1,013	48	4.8	1,041	76	7.3
一般会計繰入金	160	160	0	0.0	169	9	5.1
その他	123	128	5	4.1	116	7	5.7
<b>医業外収益</b>	839	831	8	1.0	848	9	1.0
一般会計繰入金	824	824	0	0.0	836	12	1.4
その他	15	7	8	107.4	12	3	24.4
<b>病院事業費用</b>	<b>5,805</b>	<b>6,192</b>	<b>387</b>	<b>6.2</b>	<b>6,218</b>	<b>413</b>	<b>6.6</b>
<b>医業費用</b>	5,317	5,686	369	6.5	5,726	409	7.1
給与費	2,494	2,709	215	7.9	2,904	410	14.1
材料費	1,084	1,151	66	5.8	1,134	50	4.4
(うち医療材料費)	1,037	1,103	67	6.0	1,085	48	4.4
経費	968	1,046	78	7.4	897	71	7.9
減価償却費	743	749	6	0.8	768	25	3.3
その他	27	31	3	10.6	23	5	20.3
<b>医業外費用</b>	488	506	18	3.6	492	4	0.7
支払利息	346	356	9	2.6	355	9	2.4
その他	142	151	9	5.8	137	5	3.5
<b>収支差</b>	<b>744</b>	<b>870</b>	<b>126</b>	<b>-</b>	<b>862</b>	<b>118</b>	<b>-</b>

## 経営指標の見込み

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	17年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	80.2	92.9	12.7	-	82.3	2.1	-
2. 平均在院日数(日)	18.4	H22 19.0以下	0.6	-	20.0	1.6	-
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	33,255	33,605	350	1.0	32,092	1,163	3.6
(2) 外来	8,203	7,128	1,075	15.1	7,399	804	10.9
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	59.1	60.3	1.3	-	64.4	5.3	-
(2) 医療材料費	24.6	24.6	0.0	-	24.1	0.5	-
5. 経常収支比率(%)	87.2	85.9	1.2	-	86.1	1.0	-



## 特記事項

日南病院 ~ 7億44百万円の純損失の見込み (対計画比 +1億26百万円、対前年度比 +1億18百万円)
--

### 〔概要〕

延患者数は、入院・外来ともに、計画及び前年度を下回る見込みであり、また、入院の診療単価が計画を下回ることが見込まれる。このため、計画に比べ、

- ・ 入院収益 ~ 2億15百万円
- ・ 外来収益 ~ 48百万円

また、前年度比においても、ともに減少見込み。

- ・ 入院収益 ~ 2億8百万円
- ・ 外来収益 ~ 76百万円

現業業務の委託化等（＝現業職員の削減）、病棟再編に伴う看護師の削減、退職給与金の減少見込みにより、給与費の減少が見込まれる。

- ・ 計画比 2億15百万円
- ・ 前年度比 4億10百万円

（参考）現業職員の削減 28名、看護師の削減 10名（中途異動）

現業業務の委託化等に伴い、前年度比で経費（主に委託費）の増加が見込まれる。

- ・ 計画比 78百万円
- ・ 前年度比 + 71百万円

### 〔診療機能の見直し等〕

7対1看護体制の導入（10月）

一層質の高い看護の提供と収益の確保を図るため、7対1看護体制を10月から導入した。

病棟再編の実施（10月）

入院患者数の減少を踏まえ、経営効率化の観点から10月に病棟再編を実施し、1病棟（49床）削減した。

## (4) 富養園

## 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率	17年度実績	増減(実績比)	増減率
<b>病院事業収益</b>	848	962	114	11.9	1,059	211	19.9
<b>医業収益</b>	376	489	114	23.2	515	140	27.1
入院収益	187	271	84	30.9	310	123	39.6
外来収益	162	192	29	15.3	187	25	13.2
一般会計繰入金	25	25	0	0.0	15	10	63.9
その他	2	2	0	22.0	3	2	50.4
<b>医業外収益</b>	473	473	1	0.1	544	71	13.1
一般会計繰入金	472	472	0	0.0	543	71	13.0
その他	0	1	1	64.4	1	0	49.6
<b>病院事業費用</b>	1,131	1,313	182	13.9	2,058	927	45.0
<b>医業費用</b>	1,114	1,294	179	13.9	2,042	927	45.4
給与費	828	948	120	12.7	1,761	933	53.0
材料費	92	88	4	4.9	114	22	19.0
(うち医療材料費)	81	73	8	11.4	97	15	15.9
経費	150	213	63	29.5	126	24	18.8
減価償却費	39	38	0	0.5	35	3	9.3
その他	5	6	1	14.5	5	0	1.8
<b>医業外費用</b>	16	19	3	15.0	16	1	3.2
支払利息	1	1	0	15.9	1	0	11.5
その他	15	18	3	15.0	15	1	4.3
<b>収支差</b>	283	351	68	-	999	716	-

## 経営指標の見込み

区 分	18年度見込	18年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	17年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	40.0	53.9	13.9	-	34.3	5.7	-
2. 平均在院日数(日)	106.9	H22 71.0以下	35.9	-	108.8	1.9	-
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	13,988	13,500	488	3.6	13,501	487	3.6
(2) 外来	11,063	11,500	437	3.8	11,227	164	1.5
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	220.5	193.9	26.7	-	341.8	121.3	-
(2) 医療材料費	21.7	14.9	6.7	-	18.8	2.9	-
5. 経常収支比率(%)	75.0	73.3	1.7	-	51.5	23.5	-

## 特記事項

富養園 ~ 2億83百万円の純損失の見込み  
(対計画比 + 68百万円、対前年度比 + 7億16百万円)

### 〔概要〕

延患者数は、入院・外来ともに、計画及び前年度を下回る見込みである。  
このため、計画に比べ、

- ・ 入院収益 ~ 84百万円
- ・ 外来収益 ~ 29百万円

また、前年度比においても、ともに減少見込み。

- ・ 入院収益 ~ 1億23百万円
- ・ 外来収益 ~ 25百万円

### (参考) 患者数減少の背景

\* 長期入院患者の社会復帰促進、新たな病院(こころの医療センター)への円滑な移行を図るための転・退院の促進に伴う患者数の減少

### \* 病棟削減

現員数は各月1日現在

	H17.3	H17.4	H17.10	H18.4	H18.10
病棟数	6	5	4	3	2
病床数	268	208	159	102	81
看護師数	102	91	87	57	48

現業業務の委託化等(=現業職員の削減)、病棟再編に伴う看護師の削減、退職給与金の減少見込みにより、給与費の減少が見込まれる。

- ・ 計画比 1億20百万円
- ・ 前年度比 9億33百万円

(参考) 現業職員の削減 17名、看護師の削減 39名(H17.10比)

現業業務の委託化等に伴い、前年度比で経費(主に委託費)の増加が見込まれる。

- ・ 計画比 63百万円
- ・ 前年度比 + 24百万円

### 〔診療機能の見直し等〕

#### 病棟再編の実施

(4月) 成人の1病棟(57床)を削減した。

(10月) 成人の2つの病棟を1つに統合(21床削減)した。